

会議録 JKA 補助事業 特殊浴槽導入にともなう評価会議

日時：令和7年9月30日（火） 10：00～10：30

場所：特別養護老人ホームのぞみの苑 会議室

出席者：施設長、介護主任、相談員主任、介護副主任、介護職員2名、事務主任

【議題】

JKA 補助事業により、令和7年8月27日に導入された仰臥位式特殊浴槽について、使用開始1ヶ月後の評価を共有し、今後の運用方針を検討します。

【議事内容】

① 特殊浴槽導入による変更点（報告：介護主任）

- ・座位式から仰臥位式への変更により、職員・利用者双方にメリットが見られました。特に、入浴介助時の身体的負担の軽減に効果があり、今後の入浴支援において有効との意見が出されました。

② 介護職員からの現場報告（報告：介護副主任、介護職員2名）

- ・仰臥位式は姿勢保持が容易であり、利用者の安定性が向上しました。
- ・洗体時、全身を洗いやすくなり、介助の質が向上しました。
- ・背部の洗体も可能となり、より丁寧なケアが行えるようになりました。
- ・リクライナーが昇降式であるため、移乗動作がしやすくなり、腰への負担が軽減されました。
- ・操作に特に難しい点はなく、数回の使用でスムーズに対応できるようになりました。

③ 利用者の反応（報告：相談員主任）

- ・「寝たまま入れるので怖くない」「座っているより体が楽」との声が聞かれ、入浴に対する心理的負担が軽減されました。
- ・入浴を楽しみにする声があり、満足度の向上がうかがえました。

④ 今後の対応と留意点

- ・利用者の身体状態に応じた個別対応を継続していきます。
- ・特に、仰臥位での入浴に不安を感じる利用者に対しては、声かけやアイコンタクトを重視し、不安軽減に努めます。

【まとめ（発言：施設長）】

特殊浴槽の導入により、快適性・業務効率の面での効果が見られました。今後も特殊浴槽を有効活用しながら、利用者本位の入浴支援を行っていただきたいと思います。

■ 議事録作成：事務主任
(確認：施設長)